

かゑらじと かねて思へハ 梓弓

なき数に入る 名をぞとどむる

四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第153号

令和4年11月8日

発行=四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号
四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

10/26 電通大コラボ6弾・正行ゲームデモプレー

完成度の高い多くのゲームに期待高まる！

= ボードゲームあり、デジタルゲームあり そしてグッズも =

「遊んで学ぶ武将楠正行」9作品

10月26日(水)、電通大四條畷学舎10号館で、大阪電気通信大学・木子&由良研究室と四條畷楠正行の会による産学連携事業、社会プロジェクト実習第6弾「遊んで学ぶ武将楠正行」ゲーム&グッズ制作のデモプレーが行われました。



このデモプレーは、ゲームやグッズ制作の最終段階で、ゲームのデモプレーを行うもので、この後、12月4日(日)開催予定の「市民ゲーム大会」に向けて最終チェックに入ります。

この日、四條畷市から市民生活部西野次長、総合政策部鈴木副参事、教育委員会神本課長、同安田課長の4人と四條畷楠正行の会土井企画委員と扇谷が出席、デモプレーに参加し、最終的な感想・意見を学生の皆さんに訴えました。

時間の制約もありましたので、9班の内、扇谷が参加した4つのゲームの状況を報告します。

最初は、唯一のグッズ制作班です。

この班が制作しているの



は、シール、マスク、パスケース、ネクタイ、エコバックの5種類です。

特に気に入ったのがマスクとエコバックのデザインです。当初、菊水の家紋そのものの予定でしたが、今回デモプレーで登場したデザインは、菊水の家紋に現代風のアレンジを加え、子どもから大人まで親しめるものになっていました。これらの成果品を多くの人が使えば、街中に正行文化が行き交い、話題で持ち上がること請け合いました。

次に参加したのは、ボードとカードを使った「楠正行絵札の戦い」ゲームです。

このゲームは、中学生以上が対象で、ゲームのルールを飲み込むまでかなり苦労しましたが、ひとたび始めると、仕掛けも多く、偶然性もあり、少兵の正行対大軍の幕府軍という設定の中で、様々な戦術を引いたカードによって決められ、思わぬ大勝となったり、自爆して敗戦



となったりと、ゲームにのめりこんでいきました。扇谷は正行隊で戦

い、引くカードによって不利の連続が続いてしまい、破れてしまいました。時間があれば、もう一戦と思ったゲームでした。少々難易度の高いゲームなので、ゲーム盤等に工夫を凝らし、「遊んでみたい」と思わせるデザインにして欲しい、と注文を付けました。



3番目は、将棋戦法を取り入れたボードゲームでした。

このゲームは、オリジナル将棋盤を使い、正行軍と幕府軍に分かれてコマを動かします。それぞれの駒の移動できる方向やワク数が異なり、最終的には正行コマか敵の大將コマをゲットした方が勝つというものです。

将棋を知らないと少し難しいゲームですが、将棋のルールが分かれば、すぐになじめるゲームで、じゃんけんで勝ち正行のコマをゲットでき、このゲームは運よく勝利しました。

この日、コマはまだ完成しておらず「紙」のコマを使用しましたが、完成品は、木製の将棋の駒のようなデザインになるとのことで、立体感も生まれ、コマを動かす手さばきも優雅に楽しくできるのではないかと思います。

参加できた最後は、デジタルゲームの「楠正行ミニゲーム集」でした。

まず、大人向けの「正行クイズ」にチャレンジしましたが、スマートフォンの文字が小さく、質問を読むのに時間を要し、解答する前に「不正解」と判定され、エイヤーで解答しましたが、結局10問中6問の正解に終わりました。文字の拡大をお願いしました。

次に、子ども向けの「矢避けゲーム」に挑戦。これは

横スクロール2Dゲームで、飛んでくる矢を避けてゴールを目指すもので、矢に3回あたるとゲームオーバーとなります。扇谷は、すぐに矢にあたってしまい、あっという間にゲームオーバーとなりましたが、子どもたちは喜んでくれると思いました。

子ども向けの2番目は、画面上を流れてくる人物をクリックして



助ける「渡辺橋の美談」ゲームで、流木などのダミーも流れてくるので、それをクリックしたらスコアが減るゲームですが、これは高得点を挙げることができました。

子ども向けの3番目は「間違い探し」ゲームです。

画面に表示される、左右二つの画像を比べて、5つの間違いを探すもので、間違った箇所タッチすると、正解の表示が出るゲームで、必死に探しました。視力の衰えもあり、少々てこずりました。

9班のうち、4班のゲームしか参加できませんでしたが、最後の感想では、市の幹部職員4人から、「昨年より数段内容の濃い、考えられたゲームに仕上がっています。」「全部参加できず残念でした。12月4日の市民ゲーム大会が待ち遠しいです。」と称賛の声が上がりました。



12月4日、市民ゲーム大会開催

これら9班が制作するゲーム&グッズは、12月4日(日)、午後1時30分から市民総合センターで開催する「市民ゲーム大会」で披露します。入場無料で、当日先着順の50名が定員です。大人から子どもまで、特に市内在住の小学生・中学生の参加をお待ちしています。

(写真1面左:各班毎に分かれてデモプレー 右:グッズ制作班 2面左上から:楠正行絵札の戦い班、将棋戦法を取り入れたボードゲーム班 右上から:デジタルゲーム班、感想を述べる市幹部職員ら)

(文責:四條畷楠正行の会代表 扇谷昭)